

ネットイーグル（福岡市、祖父江久好社長）が全国のプレカット工場を対象に実施したアンケート調査によると、全回答社240社のうち、129社（54%）と過半の会社が4月から導入されるBIM図面審査について「知らなかった」と回答した。BIMについては58%が「知っている」と答えたが、BIMの標準ファイル形式である「IFC」については「知っている」は28%にとどまり、BIMについての理解が浸透していない現状が浮き彫りになった。

アンケート調査は1月7日～2月10日に実施。303社に送付し、240社の回答を得た。回答率は79.2%。

今期の業績予想は、「増収増益」が10%あったが、「減収減益」47%、「増収減益」6%と、半数以上が減益の見通しとなった。

2026年の住宅着工予測は、「増加」が8%にとどまり、57%が「減少」を予測した。減少幅

ネットイーグルアンケート調査

BIM図面審査、理解度低く

旧4号の構造審査は45%が自社対応

かったが、「壁量/柱の小径で対応」が73社（23%）、「許容応力度計算で対応」が76社（23%）であった。このうち、重複（双方に対応）が40社あり、差し引き109社以上が119社（50%）と半数を占めた。このうち、3000坪以上が56社（23%）、5000坪以上が39社（16%）。1000坪未満は81社（34%）で、加工なしが16社（7%）、無回答が24社（10%）だった。

非住宅の受注状況は「増加」が25%、「低下」が30%で、低下が増加を上回った。「例年どおり」は33%。

は「5%減」21%、「10%減」23%、「15%減」8%、「15%以上減」5%とばらついた。そのほか、「横ばい」が16%、「分からない」が18%。

は大きい」が18%、「影響ある」が40%、「影響は少しある」が25%で、83%が影響を指摘した。

4号特例縮小への対策として、建築事務所に登録している会社は36社（同15%）だが、複数回答、母数32

（複数回答、母数32）については、設計事務所などに「外注する」が97社（30%）と最も多

非住宅プレカットの年間加工坪数は1000坪以上が119社（50%）と半数を占めた。このうち、3000坪以上が56社（23%）、5000坪以上が39社（16%）。1000坪未満は81社（34%）で、加工なしが16社（7%）、無回答が24社（10%）だった。

非住宅の受注状況は「増加」が25%、「低下」が30%で、低下が増加を上回った。「例年どおり」は33%。

非住宅の工法（複数回答、母数491）は在来軸組が33%、金物工法が26%で、双方で59%と6割弱を占めた。そのほか、大断面木造11%、2

×4工法7%、CLT3

の縮小については、「影響

（複数回答、母数32）については、設計事務所などに「外注する」が97社（30%）と最も多

非住宅プレカットの年間加工坪数は1000坪以上が119社（50%）と半数を占めた。このうち、3000坪以上が56社（23%）、5000坪以上が39社（16%）。1000坪未満は81社（34%）で、加工なしが16社（7%）、無回答が24社（10%）だった。

非住宅の受注状況は「増加」が25%、「低下」が30%で、低下が増加を上回った。「例年どおり」は33%。